

Arcserve Backup r16.5 によるクラウドへのバックアップ 方法

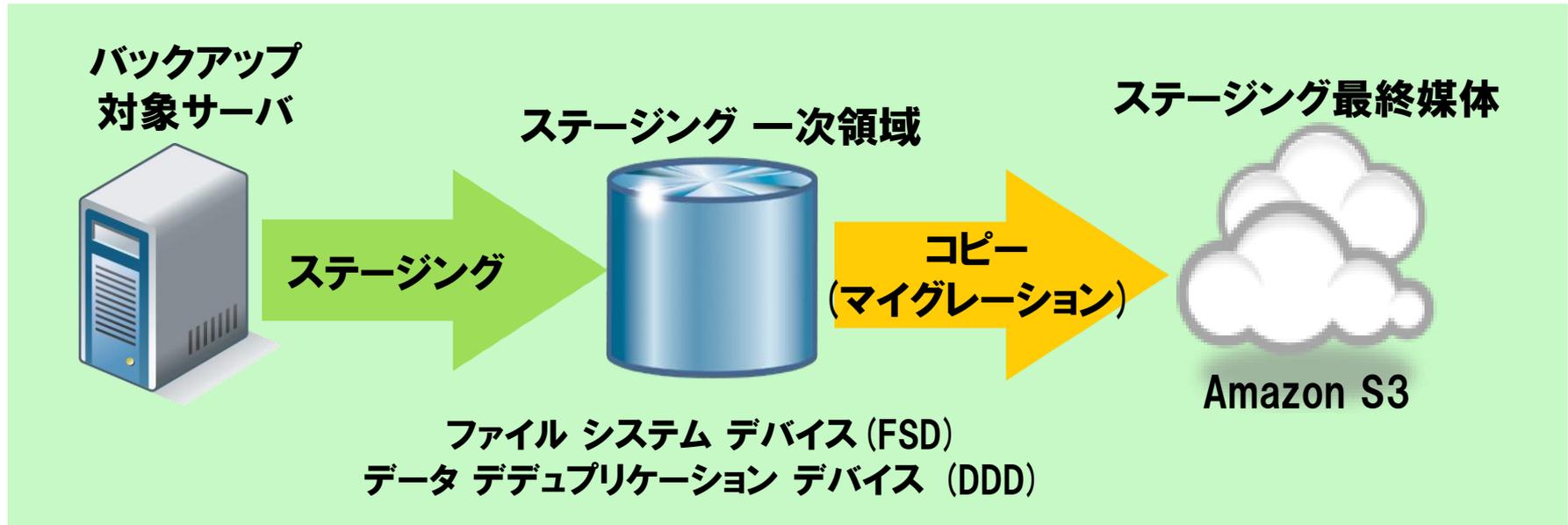
Arcserve Japan

Rev.1.5

arcserve®
assured recovery™

クラウド環境へのバックアップの概要

- 災害に強いバックアップ データの作成
- ステージング(2段階バックアップ)の最終媒体として利用
 - ✓ バックアップ ウィンドウへの影響を最小限に抑制
 - ✓ オンプレミス領域の空き容量確保



クラウドへのバックアップのステップ

事前準備

1. クラウドへのアカウント作成
2. クラウド デバイスの作成

各ジョブでの指定

1. スタート タブ
ステージング有効化を指定
2. デスティネーション タブ
クラウド デバイスの指定
ページ ポリシーの定義

事前準備1&2: アカウント作成とクラウド設定

- クラウド サービスのアカウントを作成
 - ✓ Amazon Web Services アカウント登録
- クラウド接続環境を設定
 - ✓ [デバイス管理]
 - [クラウド接続の設定]
 - アカウント情報
 - データ保管先のバケットを指定

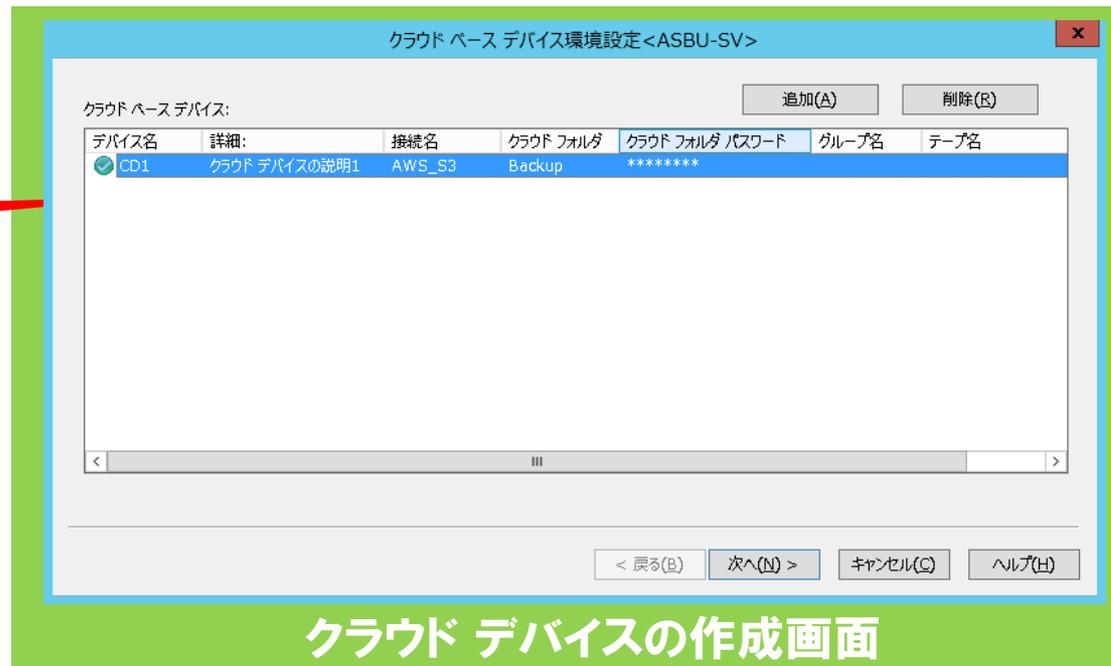


事前準備2: クラウド デバイスの作成

- クラウド デバイスを作成

✓ [デバイス管理] - [クラウド ベース デバイスの管理]

- 接続名: クラウド接続で作成した接続名を選択
- クラウド フォルダ: 任意のフォルダ名またはクラウド上のフォルダを指定
- クラウド フォルダ パスワード: クラウド サービス側で設定したパスワードを指定



各ジョブでの指定1&2: ステージング指定とクラウドのパーズ指定

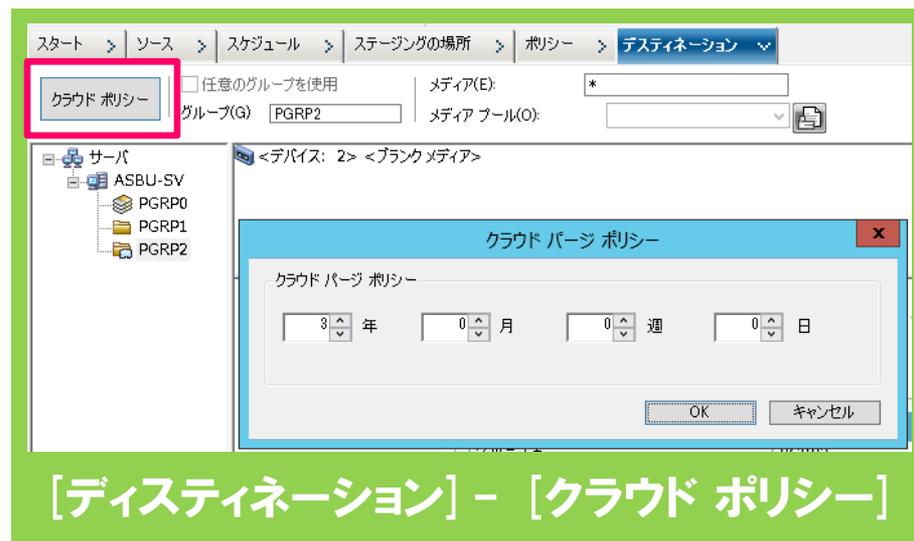
- ステージング指定

- ✓ [スタート] タブにて [ステージング有効化] をチェック

- クラウド パージ ポリシー

- [デスティネーション] タブにて、クラウド デバイスを指定
- [クラウド ポリシー] ボタンをクリックし、クラウド上のデータ保持期間を設定
(デフォルト: 3年)

クラウド サービス上の
データ量を抑制



パーズ ポリシー以外の削除方法

- デバイス マネージャの[クラウド フォルダの参照]画面から削除
- リストア マネージャの[セッション単位]からクラウド セッションを削除

クラウド デバイスの注意事項

～ Amazon S3 固有 ～

- 設定可能な「バケットの地域」(Region)
 - アジアパシフィック-東京
 - アジアパシフィック-シンガポール
 - 米国 -スタンダード
 - 米国-北カリフォルニア
 - 米国-オレゴン
 - 欧州-アイルランド
 - ブラジル-サンパウロ
- グローバル クロックとの同期
 - グローバル クロックとコンピュータの設定時間は10分以内の誤差に設定
 - ✓ 10分の誤差を超えると、Amazon S3 は利用不可
 - ✓ コンピュータの時間をリセットした場合は、ジョブを再サブミット

クラウド デバイスの注意事項 ～ クラウドサービス共通 ～

- Amazon S3およびその他のクラウドサービス共通の注意事項
 - ステージング1次領域 (クラウドへのコピー元)
 - ✓ ディスク ベース デバイスを指定
 - Disaster Recovery Optionによる クラウド デバイスからの惨事復旧はサポートしません。